

平成29年度 学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
玉名	和水町	菊水西小学校

1 取組

項目	活動の様子(写真)	取組の実際
宣言	<p>【宣言項目】 (ポスターの一部変更)</p>	<p>昨年度の反省と、環境に関するアンケート調査結果から本年度の宣言項目を整理した。【児童・職員】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 節電・・月別使用量を前年度比6月以上減らす。 2 節水・・歯磨き・手洗い、掃除の時は水の量を考える。水を出しっぱなしにしない。 3 残さい0・・給食を残さない。 4 緑の一日一善運動・・25本以上の草取り 5 エコキャップ回収・・年間目標60kg回収(毎月25日にはこちゃんデー) 6 美しく花いっぱい为学校・・ペアプランター、学級花壇の水かけ等 7 家庭版環境ISO(年間2回) <p>【職員】</p> <ol style="list-style-type: none"> 8 紙の消費量・・昨年度比3%減(両面、モノクロ印刷、裏紙使用) 9 呼びかけ・・環境によい行動
行動	<p>【節電・節水ポスター】</p> <p>【緑の一日一善運動】</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 節電・節水 環境委員会がポスター製作して、掲示した。 2 緑の一日一善運動(通年:全児童・全職員) 環境委員が「緑の一日一善」を毎朝校内放送で呼びかけた。「毎日25本以上の草をとろう。」「落ち葉拾いをしよう。」と呼びかけて、取り組んだ。 3 エコキャップ回収(通年:全児童・全職員・地区) 毎月25日を「ニコちゃんデー」とし、ペットボトルのキャップを回収した。校内にペットボトルキャップの回収ボックスを設置し、常時回収を呼びかけることで、児童の意欲も高まった。また、地域にも呼びかけたことで、卒業生や地域の方々が学校に持ってきてくださることも増えてきた。 4 美しく花いっぱい为学校(通年:全児童・全職員) クリーンタイムや愛校作業、朝のボランティア活動で花を植えたり、草取りや水かけを行ったりした。また、種から苗を育てたり、ひまわりを育てたりするなど、年間を通して花を育てた。



【エコストア】



【リサイクル用紙の回収ボックス】

5 エコストアの実施（11月）

12年前から取り組んでいる活動で、5年生が企画し、6年生も協力して行った。総合的な学習の時間に準備をし、他学年がエコストアの客として、家庭で集めた牛乳パックやトレイ、ペットボトルのキャップを持ってきて参加した。

6 家庭版環境ISO（年2回）

6月の環境月間に、家庭でも宣言項目を決めて取り組むように、一週間のがんばりカードを配布した。3段階でふり返り、感想を書くようにした。2回目は、2月に実施予定である。

7 職員：紙の消費量削減（昨年度比3%減）

予算や印刷、コピー機の使用枚数制限等を事務だよりで発行し、裏紙の利用や原則として白黒コピーをするなど、職員全体で共通理解を図った。

○ 緑の一日一善運動

ほとんどの児童が、運動場や花壇の草を25本以上とることができた。環境委員が、毎朝校内放送を通して音楽を流して呼びかけることで、みんなで取り組む意識が高まった。

○ エコキャップ回収

昨年度、42.7kgキャップを回収し、ポリオワクチン13人分のお金になったという感謝状をいただいたことで子どもたちの意識が高まった。毎月25日のニコちゃんデーには、重さを量り、給食時に放送をして報告した。今年度は1月12日現在、70.1kg、ポリオワクチン17.5人分の協力が得られている。

○ エコストア

楽しく遊びながら、身の回りの環境問題に目を向け、ゴミを減らし、資源を大切に使うために自分たちにできることをしようという意欲を高めることができた。

【エコストアでの回収結果】

- ・牛乳パック250枚
- ・トレイ269枚
- ・エコキャップ10.9kg

○ 電気使用量（12月末現在昨年度比7ヶ月の減）

今年度8月から教室にエアコンが導入されたが、電気使用量は前年度より減少している。使用基準を守った使用、節電の意識が高まっている。



【感謝状】



【キャップ・紙パックの重さを測定】

記録

	 <p>【トレイの枚数を確認】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員：紙の消費量削減（昨年度比コピー使用量 20% 減、用紙の購入量減） 会議での配付物など裏紙を使用の意識が高まった。職員への分別・節約の意識も高まった。 ○ 家庭版環境 I S O 児童が考えた宣言項目は、「電気をこまめに消す。」「水の無駄づかいをしない。」などが多かった。保護者からは、「風呂の残り湯で洗濯しています。」「電気の消し忘れをなくすようにしたり、コンセントをぬくようにしたりしています。」などの声が寄せられた。
見直し	 <p>【ペアプランターの草取り】</p>  <p>【ペットボトルキャップ回収ボックスの設置】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童：美しく花いっぱい为学校 「毎日、草取りや水かけをしています。」とペットボトルで水をかけながら話してくれた児童がいた。花を育てることで心が育っている。しかし、本年度は、雨の日が多く、取組に個人差が見られた。活動の時間の確保を工夫するとともに、今後も環境委員会を中心に呼びかけを行っていきたい。 ○ 児童・職員：緑の一日一善運動 始業前に職員も児童と一緒に活動することで多くの児童が草取りに参加するようになった。児童数の減少とともに、できることの総量が減ってきている傾向にある。今後も全児童・職員が進んで実践できるように、呼びかけの仕方を工夫し児童・職員の意識をさらに高揚させていく必要がある。 ○ 職員：紙の消費量削減（昨年度比3%減） 今後も裏紙を使ったり、白黒コピーを使ったりして継続して取り組む。教室にエアコンが導入されたので、職員室の冷暖房も含め、使用規準を再確認し、互いに声かけ等を行っていく必要がある。

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>学校版環境 I S O の今年度の数値目標は達成することができた。環境委員会が中心になって呼びかけ、自分たちの手で美しい学校をつくろうという意識が高まっている。分別や節水・節電など児童や職員の意識も高まってきている。</p> <p>家庭版環境 I S O の呼びかけで家庭での節電・節水の意識も高まりつつある。</p>	<p>現在は、環境委員会を中心に全校に呼びかけ、朝のボランティア活動をしている。児童数の減少により、活動内容の見直しや活動時間の確保が必要である。また、環境への意識は高まっているが個人差があるように感じる。今後も地域・家庭と共に取組を進め、意識を行動につなげていきたい。</p>

